

【問1】

次のうち、胸郭内部に位置する臓器として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 肺
- B. 心臓
- C. 肝臓
- D. 子宮

【問2】

次のうち、尿を溜めておく袋状の臓器で、骨盤の中にある器官はどれか。

- A. 腎臓
- B. 尿管
- C. 膀胱
- D. 尿道

【問3】

次のうち、胸骨を構成する組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

- A. 胸骨柄・胸骨体・下鼻甲介
- B. 胸骨柄・胸骨体・舟状骨
- C. 胸骨柄・胸骨体・剣状突起
- D. 胸骨柄・胸骨体・蝶形骨

【問4】

次のうち、胃の働きとして**適当でないもの**はどれか。

- A. 胃は酸性になっている消化物を、アルカリ性粘液によって中和する。
- B. 胃から分泌される消化酵素ペプシンは、タンパク質を分解させる。
- C. 胃液と消化物を混ぜ合わせる運動を分節運動という。
- D. 胃液は強酸性の酵素で殺菌作用を持つ。

【問5】

次の関節に関する説明のうち、**適当なもの**はどれか。

- A. 関節をつなぐ潤滑油の働きをするのは、滑液膜から分泌される滑液である。
- B. 関節をつなぐ潤滑油の働きをするのは、滑液膜から分泌される血漿である。
- C. 関節をつなぐ潤滑油の働きをするのは、滑液膜から分泌される膝液である。
- D. 関節をつなぐ潤滑油の働きをするのは、滑液膜から分泌される唾液である。

【問6】

次のうち、脳下垂体前葉から分泌されるホルモンとして、**適当でないもの**はどれか。

- A. 成長ホルモン
- B. 甲状腺刺激ホルモン
- C. 黄体形成ホルモン
- D. 抗利尿ホルモン

【問7】

肘関節の腕尺関節の種類として、**適当なもの**はどれか。

- A. 橈円関節
- B. 車軸関節
- C. 球関節
- D. 蝶番関節

【問8】

次の文章のうち、リンパの説明に関して、**適当でないもの**はどれか。

- A. 脾臓は、免疫細胞であるリンパ球を造る。
- B. リンパ液は、「白い血液」と呼ばれることがある。
- C. リンパ管は、動脈に沿って体の中に分布して、循環している。
- D. リンパ液と血漿の組成は、ほとんど同様である。

【問9】

次の文章のうち、膵臓の働きとして**適当なもの**はどれか。

- A. 膵臓は、消化酵素ペプシンを分泌し、タンパク質を分解させる。
- B. 膵臓は、女性の性周期に関係しているエストロゲンを分泌している。
- C. 膵臓は、血糖値の上昇に働くグルカゴン、血糖値の抑制に働くインスリンを分泌している。
- D. 膵臓は、赤血球造血促進作用に働くエリスロポエチンを分泌している。

【問10】

次のうち、もっとも可動域が狭い関節はどれか。

- A. 平面関節
- B. 球関節
- C. 鞍関節
- D. 車軸関節

【問 1 1】

次の①に入る適切な語句はどれか。

『膵臓は、①という消化酵素を分泌するが、これは炭水化物をブドウ糖に分解する。』

- A. リパーゼ
- B. グリセリン
- C. ブドウ糖
- D. アミラーゼ

【問 1 2】

次のうち、ガス交換の働きを行う血液成分として、適切なものはどれか。

- A. 血小板
- B. 血漿
- C. 白血球
- D. 赤血球

【問 1 3】

次のうち、腰椎を構成する椎骨の数はどれか。

- A. 4個
- B. 5個
- C. 6個
- D. 7個

【問 1 4】

次の○にあてはまる数字はなにか。

頸椎は○個の椎骨から成り立っている。

- A. 7個
- B. 3個
- C. 5個
- D. 10個

【問15】

次のうち、**適当でないもの**はどれか。

- A. ボディリラクゼーション従事者は、診断行為を行ったり、病名を告げたりしなければ、あんま・マッサージ・指圧師と同じ施術を行うことが認められている。
- B. 医師免許は医師法に基づく国家資格である。
- C. 医師以外に治療の類似行為（医業類似行為）を行える者は、柔道整復師、鍼師、灸師、あんま・マッサージ・指圧師の資格を持つ者である。
- D. ボディリラクゼーションの資格は、民間の団体によって発行・運営されているものである。

【問16】

次のうち、**適当なもの**はどれか。

- A. 柔道整復師、鍼師、灸師、あんま・マッサージ・指圧師の資格を持つ者は、医師と同じように診断行為を行える。
- B. 柔道整復師、鍼師、灸師、あんま・マッサージ・指圧師の資格を持つものは、診断行為は行えない。だが、各々の資格を規定した法律で定められている、治療に類似した施術を行える。
- C. ボディリラクゼーションは、民間の資格に基づくものであるが、技法によっては医業類似行為の資格を持つ者と同じような行為を行える。
- D. 医業類似行為のうち、あんま・マッサージ・指圧は、法律上、ボディリラクゼーションと同様のものである。

【問17】

次のうち、ボディリラクゼーション従事者が行う行為として、**適当なもの**はどれか。

- A. 肩こりの愁訴を告げるお客様に、考えられる病名を告げた。
- B. 肩こりの愁訴を告げるお客様に、医師の診察を受けるように勧めた。
- C. 肩こりの愁訴を告げるお客様に、「治ります」と告げた。
- D. 肩こりの愁訴を告げるお客様に、リラクゼーションは医業類似行為と実質上同じものであると説明した。

【問18】

次のうち、ボディリラクゼーションに期待すべき効果として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 心の癒しを得る
- B. 緊張をほぐし、リラクゼーション効果を得る
- C. ストレスによって起こる病気の改善
- D. ストレスによって起こる身体の疲労の改善

【問19】

次に挙げる脊椎の部位のうちで、最も上部に位置するものはどれか。

- A. 腰椎
- B. 仙骨
- C. 頸椎
- D. 胸椎

【問20】

次のうち、頭蓋を構成する骨として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 舟状骨
- B. 蝶形骨
- C. 篩骨
- D. 頬骨

【問21】

次のうち、人体の最も上部に位置する骨はどれか。

- A. 蝶形骨
- B. 尺骨
- C. 鎖骨
- D. 脛骨

【問22】

次のうち、筋肉に関する説明として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 四肢を動かす骨格筋は随意筋であり、心臓を動かす心筋は不随意筋である。
- B. 心臓を動かす心筋、内臓の壁を構成する平滑筋は、ともに不随意筋である。
- C. 四肢を動かす骨格筋、心臓を動かす心筋はともに不随意筋である。
- D. 内臓の壁を構成する平滑筋は不随意筋であり、四肢を動かす骨格筋は随意筋である。

【問23】

次のうち、骨の働きとして**適当でないもの**はどれか。

- A. 造血作用
- B. 保護作用
- C. 運動作用
- D. 循環作用

【問 2 4】

関節に関する次の説明のうち、適当なものはどれか。

- A. 肘関節の上橈尺関節などの車軸関節は、骨の長軸方向にのみ回転する。
- B. 臼状関節の代表的なものには、手根中手関節がある。
- C. 平面関節の一種である椎間関節は、人体の関節の中で最も可動性が大きい。
- D. 楕円関節は、楕円形をしている関節面の短軸方向にのみ動く。

【問 2 5】

次のうち、最も可動範囲の小さい関節はどれか。

- A. 肩関節
- B. 椎間関節
- C. 肘関節
- D. 膝関節

【問 2 6】

次のうち、消化管に該当しないものはどれか。

- A. 小腸
- B. すい臓
- C. 胃
- D. 肛門

【問 2 7】

小腸の働きとして、適当なものはどれか。

- A. 胆汁を生成する。
- B. 食物を一時貯蔵する。
- C. 水分を吸収する。
- D. 栄養素を吸収する。

【問 2 8】

次のうち、肝臓の機能として、適当なものはどれか。

- A. 呼吸
- B. 排泄
- C. 物質代謝
- D. 生殖

【問29】

次のうち、成人の肝臓の働きとして**適当でないもの**はどれか。

- A. 胆汁の生成と分泌
- B. ヘパリンの生成
- C. ホルモンの平衡作用
- D. 造血作用

【問30】

次のうち、膵臓が分泌するホルモンとして、**適当な組み合わせ**はどれか。

- A. インシュリン・レニン
- B. インシュリン・アンドロゲン
- C. インシュリン・グルカゴン
- D. インシュリン・プロゲステロン

【問31】

次の文章のうち、呼吸筋に関する説明として、**適当なもの**はどれか。

- A. 息を吐く場合、内肋間筋が収縮して肋骨が下がり、横隔膜が上がって、胸郭を狭くする。
- B. 息を吐く場合、内肋間筋が収縮して肋骨が上がり、横隔膜が下がって、胸郭を狭くする。
- C. 息を吸う場合、外肋間筋が収縮して肋骨が下がり、横隔膜が下がって、胸郭を広げる。
- D. 息を吸う場合、外肋間筋が収縮して肋骨が下がり、横隔膜が上がって、胸郭を広げる。

【問32】

慢性頭痛を筋緊張性頭痛と片頭痛（偏頭痛）とに分類したとき、筋緊張性頭痛に該当する症状はどれか。

- A. 寝込むほどに強い痛みが月に1～2回起こる。
- B. 痛みの強さは、仕事や家事ができなくなるほどではないが、だらだらと続く。
- C. 光や音、臭いなど外界の刺激に敏感になることもある。
- D. 痛み以外にも、吐き気や嘔吐を伴うことも多い。

【問33】

次のうち、症候性頭痛の原因として**適当でないもの**はどれか。

- A. ストレスによる疲労
- B. くも膜下出血
- C. 慢性硬膜下血腫
- D. 脳腫瘍

【問34】

腰痛に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。

- A. 「腰が重い」「だるい」「こる」などという症状が続く場合、中腰の姿勢や、同じ姿勢を長時間続けて、腰の筋肉を鍛えることが望ましい。
- B. 「腰が重い」「だるい」「こる」などという症状が続く場合、腰を冷やすと良い。
- C. 「腰が重い」「だるい」「こる」などという症状が続く場合も病気ではないので、放っておけば良い。
- D. 「腰が重い」「だるい」「こる」などという症状が続く場合、中腰など無理な姿勢や、同じ姿勢を長時間続けると悪化しやすい。

【問35】

腰痛症に関する次の記述のうち、適当なものはどれか。

- A. ベッドや布団が柔らかすぎたり、ハイヒールを長時間履いたりすると、腰痛症を悪化させる。
- B. 腰痛症の場合、できるだけ柔らかいベッドや布団を使うことが望ましい。
- C. 腰痛症の場合、ストレスが原因となっていることが多いので、ハイヒールを長時間履くなど、おしゃれをして気分転換を図るのが望ましい。
- D. 腰痛症の場合、冷房は強めにすると良い。

【問36】

次の文章のうち、腰痛に関する説明として、適当なものはどれか。

- A. 坐骨神経痛は病気で起こる症状ではないので、どのような場合でも、安静にしておけば問題はない。
- B. 坐骨神経痛は、下肢の痛み以外の症状が起こることはない。
- C. 腰椎椎間板ヘルニアとは、腰部の筋肉がこわばることによって、神経を刺激し、痛みや麻痺が起こる状態のことを指す。
- D. 腰椎椎間板ヘルニアとは、椎間板内の髄核がはみ出すことによって、神経を刺激し、痛みや麻痺が起こる状態のことを指す。

【問37】

次の文章のうち、腱に関する説明として、適当なものはどれか。

- A. 腱は、骨と骨をつないでいる。
- B. 腱は、筋肉と同じ組織である。
- C. 最大の腱は、アキレス腱である。
- D. アキレス腱は、手根骨と上腕骨をつなぐ尺骨側に位置する腱である。

【問38】

次の文章のうち、髄膜炎の説明として適当なものはどれか。

- A. 脳の動脈にできた動脈瘤というこぶが破裂して起こる。
- B. 頭を打った後などに、硬膜の内側で出血が起こって血腫ができ、脳を圧迫する。
- C. 脳に腫瘍ができ、周囲の正常な組織を圧迫して痛みが起こる。
- D. 髄膜に炎症が起こる病気で、38度を超える発熱が1～2週間続き、激しい頭痛が起こる。

【問39】

次の文章のうち、肩こりの原因として適当なものはいくつあるか。

『心にストレスが加わる。』『あぐらをかいて新聞を読む。』『夏、エアコンが効きすぎた部屋にいる。』

- A. 0個
- B. 1個
- C. 2個
- D. 3個

【問40】

次の文章のうち、心筋に関する説明として、適当なものはどれか。

- A. 心臓を動かす心筋は、鎖状の強靱な組織で形成されており、全身に血液を送るため、疲労しにくい構造をしている。
- B. 心臓を動かす心筋は、鎖状の強靱なつくりで形成されているが、全身に血液を送るため、疲労がかさむと、定期的に停止している。
- C. 心臓を動かす心筋は、繊細な筋肉で疲労しやすいが、各心房・心室が順番に停止することによって、全体が停止しないようになっている。
- D. 心筋は、心臓を構成するが、基本的には動かない。

【問41】

次の文章のうち、肩こりを予防したり緩和するための措置として適切なものはどれか。

- A. 肩こりを予防したり緩和するためには、正しい姿勢をとるように努めるとともに、時々運動をするのが良い。
- B. 肩こりを予防したり緩和するためには、できるだけリラックスできるように、和室で胡坐をかいたりして過ごすのが良い。
- C. 肩こりを予防したり緩和するためには、肩の筋肉が疲れないように、できるだけ同じ姿勢を続けるのが良い。
- D. 肩こりを予防したり緩和するためには、低めの作業機で作業をするほうが良い。

【問42】

次のうち、人体の六大関節として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 肩関節
- B. 股関節
- C. 椎間関節
- D. 膝関節

【問43】

次の文章のうち、甲状腺・副甲状腺に関する説明として適切なものはどれか。

- A. 甲状腺は新陳代謝や、成長促進の作用があるサイロキシン・トリヨードサイロキシンと呼ばれるホルモンを分泌する。
- B. 甲状腺は新陳代謝や、成長促進の作用があるアミラーゼ・トリプシンと呼ばれるホルモンを分泌する。
- C. 副甲状腺は、血液中のカルシウム濃度を調節するアンドロゲンと呼ばれるホルモンを分泌する。
- D. 副甲状腺は、血液中のカルシウム濃度を調節する糖質コルチコイドと呼ばれるホルモンを分泌する。

【問44】

次の文章のうち、血圧に関する説明として**適当でないもの**はどれか。

- A. 低血圧は、手足の冷えを招くことがある。
- B. 高血圧は、臓器や主要な血管に異常を引き起こす可能性がある。
- C. 一般的に、起きて活動している昼間は血圧が低めで、夜間や睡眠時は血圧が高くなる。
- D. 血圧を上げる要因としては、精神の緊張状態、内臓の異常、激しい運動、塩分の過剰摂取、ストレスなどがあげられる。

【問45】

次のうち、ボディリラクゼーション従事者が、お客様のサービスを行う前に、手指を消毒するエタノール溶液として適当なものはどれか。

- A. 50パーセントエタノール溶液
- B. 60パーセントエタノール溶液
- C. 70パーセントエタノール溶液
- D. 80パーセントエタノール溶液

【問46】

次の文章のうち、頭痛に関する説明として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 脳腫瘍によって頭痛が起こる場合がある。このような頭痛を症候性頭痛と呼ぶ。
- B. 肩や首のこりから頭痛が起こる場合がある。このような頭痛を筋緊張性頭痛と呼ぶ。
- C. 偏頭痛（片頭痛）は、運動を行うことによって、痛みを改善することができる。
- D. 頭痛の中には、治療が必要な病気によって起こるものもあるので、医師の診察を受けることが好ましい。

【問47】

次の文章のうち、頭痛の原因に関する説明として、適当なものはどれか。

- A. 仕事や家庭内のトラブルが原因となる精神的なストレスは、頭痛の原因にはならない。
- B. 仕事や家庭内のトラブルが原因となる精神的なストレスは、緊張を高めるため、むしろ頭痛を防ぐ作用がある。
- C. 全ての頭痛は、仕事や家庭内のトラブルなどによって起こる精神的ストレスが原因である。
- D. 頭痛の原因となるストレスは、仕事や家庭内のトラブルなどによって起こる精神的ストレスと、長時間パソコンに向かう仕事などによって起こる身体的ストレスがある。

【問48】

次のうち、腰痛症を悪化させる原因として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 中腰などの無理な姿勢で作業を行うこと。
- B. 冷房によって、腰部を冷やしすぎること。
- C. 同じ姿勢を長時間続けた上で作業を行うこと。
- D. 入浴などで腰部を適度に温めること。

【問49】

次の文章のうち、頸肩腕症候群の説明として、**適当でないもの**はどれか。

- A. 頸肩腕症候群とは、首から肩・腕にかけてこりや痛みが現れ、原因がはっきりしない場合の症状を指す。
- B. 頸肩腕症候群は、肩甲骨周囲、特に僧帽筋の外側から全面にかけて、筋肉に痛みやコリが現れることが多い。
- C. 頸肩腕症候群は、痛みやこりだけでなく、だるさや力が抜ける（脱力感）などの症状が現れることもある。
- D. 頸肩腕症候群は、脳腫瘍などの病気が原因で起こるため、症状に気付いたら、すぐに医師の治療を受ける必要がある。

【問50】

心の病気の分類として、外因性精神疾患に該当するものはどれか。

- A. ノイローゼ
- B. アルツハイマー型痴呆症
- C. 統合失調症
- D. 躁鬱病

【 解答 】

0 1 - D	1 1 - D	2 1 - A	3 1 - A	4 1 - A
0 2 - C	1 2 - D	2 2 - C	3 2 - B	4 2 - C
0 3 - C	1 3 - B	2 3 - D	3 3 - A	4 3 - A
0 4 - A	1 4 - A	2 4 - A	3 4 - D	4 4 - C
0 5 - A	1 5 - A	2 5 - B	3 5 - A	4 5 - C
0 6 - D	1 6 - B	2 6 - B	3 6 - D	4 6 - C
0 7 - D	1 7 - B	2 7 - D	3 7 - C	4 7 - D
0 8 - C	1 8 - C	2 8 - C	3 8 - D	4 8 - D
0 9 - C	1 9 - C	2 9 - D	3 9 - D	4 9 - D
1 0 - A	2 0 - A	3 0 - C	4 0 - A	5 0 - B